

英語グループ 准教授 山崎健一	
研究テーマ：効果的な英会話練習法、英語発話分析、エリザベス朝演劇 研究の特徴：日本人学生にとって取り組みやすく、また効果的な英会話の練習法を開発している。特徴的なのは、授業や課外活動において実際に学生指導をし、その結果を研究対象としている点である。加えて、日本人が発話した英文について、様々な観点から分析する研究も行っている。	
English Club 2020/04/01 TOPICS 1. My typical weekend. 2. Let me tell you one of my secrets. 3. Show and tell. 4. What would you do if you were a junior high student? 5. Let me describe the most memorable person in my life. 6. Speak anything about "convenience store" for 2 minutes. 7. What is your favorite place in this city? 8. What was the last book you read?	研究紹介：英会話練習法の妥当性を論じる場合、ある特定の練習法で英会話活動をした学生の英会話能力の進捗状況の分析が必要である。分析のためのデータ収集には主に英作文やインタビューという課題が用いられる。分析法は、他の研究者同様 fluency、 accuracy、そして complexity などから考察する方法を採用している。また、必要に応じて s-node や t-unit という単位も参考にしてしている。得られた結果を用いて、効果的な英会話練習法を選別している。 学生の英会話力のデータを採集する場としては、通常の英語の授業と放課後開催しているイングリッシュクラブがある。授業では、教授法や練習法に差をもうけ、各練習法等の特徴だけでなく、教員からの補助、いわゆる scaffolding の有効性についても調査している。日本におけるこれまでの英語力測定研究の分野では、リーディングなどの試験を用いたり、日本人学生に対する短期的な調査にとどまったりすることが多かった。本研究では、学生の発話内容をあくまでスピーキング能力という観点から測定し、また 6 か月間や 1 年間など、長期間にわたる実際の指導の効果を調査しているという点で、珍しいものである。 放課後開催しているイングリッシュクラブでは、図にあるようなトピック例に従って、主にペアワークにより英会話練習を行っている。ペアワークという形式の採用にも、様々な先行研究と共に、学生からの意見も参考にしてしている。 本研究の最終目標は、日本人学生にとって有効な英会話練習法の確立である。
研究業績（2015 年度以降） ・査読付論文：1 件 ・査読無論文：3 件 ・学会報告等：3 件 ・競争的研究費：0 件	
その他 毎週学生対象の英会話練習会イングリッシュクラブを開催している。	